



政友クラブ通信 第34号

成田市の新しい未来を創る!!

成田市議会 政友クラブ通信
発行日：2026年4月 発行者：政友クラブ
連絡先：成田市議会事務局
TEL0476-20-1570 FAX0476-24-0336

政策要望

令和8年度予算への反映状況

重点調査項目

<重点指針> 成田空港第2の開港プロジェクトを踏まえたまちづくり

① エアポートシティ構想

成田空港の更なる機能強化の波及効果を最大限に生かすために、本市の様々な施策を通じてエアポートシティ構想の実現に向けて確実に取り組むこと。

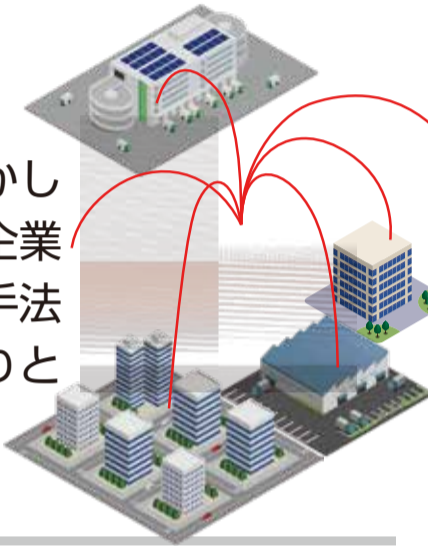
- ▶成田空港の次代を担う若者の奨学金返還支援事業



② 企業誘致

立地条件など地域の特性を最大限に生かした企業誘致を推進するために県の立地企業補助金や規制の特例措置など効果的な手法を活用することで、計画的なまちづくりと持続的な地域経済の発展を図ること。

- ▶企業立地促進事業



③ 区画整理

空港関連従事者等の居住環境の確保や物流機能の強化のために以下の整備に取り組むこと。

- ・不働ヶ岡地区 ▶ 不働ヶ岡土地区画整理事業
- ・東和田南部地区 ▶ (仮称)東和田南部土地区画整理事業
- ・吉倉久米野新駅 ▶ (仮称)吉倉・久米野土地区画整理事業
- ・(仮称)成田西IC ▶ 東関東自動車道IC連絡道路整備事業

④ 騒音地域振興

成田空港の更なる機能化に伴う騒音地域の環境変化の影響を鑑み、より一層の振興策の展開に向けて取り組み、早期に具現化すること。

- ▶成田空港周辺環境整備推進事業(久住地域スポーツ施設等整備基本設計、サイクルツーリズムプロモーション)

<個別項目> 「こども政策」が多数実現!!

給食費無料化の実現

- ▶学校給食事業(小中義務教育学校の給食無料化)

子どもの居場所づくりへの助成

- ▶こどもの居場所づくり推進事業(支援補助金)

こども・若者の意見を反映した施策の展開

- ▶こども・若者参画推進事業(こども未来政策委員会提案事業)

【こども未来政策委員会からの提案事業】

事業名	事業内容
目指せ、成田はえぬきworker!事業	・中高生向けの職業体験
ユース世代によるInstagramを活用した成田の魅力発信事業	・若者目線での情報発信(※)
若者学習応援プロジェクト	・公衆Wi-Fiの設置(本館) ・学習参考書のリユース/無償譲渡
Travel Smart, Enjoy NARITA 事業	・訪日観光客向けのマナー啓発

※令和7年度に先行して事業を実施

▶宿泊税

成田市では、観光振興の財源確保を目的として宿泊税の導入に向けた検討が進めてきました。政友クラブとしても6月に早期実現に向けて意見書を提出しております。千葉県は宿泊者1人1泊あたり150円の宿泊税を導入する制度案が示され、市町村が独自課税を行う場合は県税に上乗せすることが可能です。県の宿泊税収の一部は市町村交付金として配分され、成田市には年間約1億4400万円の交付が見込まれています。一方、市が想定する観光振興施策には約10億6000万円の財源が必要とされており、市独自の宿泊税の税率については、県内自治体の動向や有識者懇談会で示された意見を踏まえ、1人1泊150円を軸に検討されています。税収は観光資源の魅力向上、受入環境の整備、国内外への情報発信などに活用する方針です。導入に向けては、令和8年3月議会制度案を表明し、令和8年度中の条例提出を経て、可決後1年半から2年後の実施が想定されています。

▶部活動地域展開

政友クラブでは、視察・勉強会・他会派との意見交換会を実施し、子供達にとってより充実した活動になるよう求めてきました。令和8年4月より、休日の部活動地域展開が始まりますが、学校にある全ての運動部と吹奏楽部をそのままの形で地域クラブにすることを原則とし、学校に部活動がない種目については、隣接校と統合して実施します。実施に伴い課題も明確になることから、早急な解決を求めるとともに、平日の部活動地域展開について調査研究を行っていきます。

▶地域公共交通

今年度の成田市の地域公共交通は、地域公共交通計画の策定・公表により方針を明確化し、会議で計画変更案や意見対応を進めるなど実務段階へ移行しています。オンデマンド交通は乗降場の新設で面を拡大しつつ、乗合率改善や民間交通との役割分担、運行形態の見直し(実証運行含む)を検討。次年度の実証実験や補助事業評価も議題化され、改善サイクルが回り始めています。引き続き、地域公共交通の諸問題に対して取り組んでまいります。

▶赤坂複合施設

令和8年度から2カ年をかけてニュータウン再生の核となる複合施設に導入する機能の整備方針や施設の規模、今後の施設整備に向けた具体的な方向性を定める基本計画を策定する段階になりました。政友クラブではこの方針に則り、執行部に対しより市民ニーズに沿った施設になるよう、1月7日に香取市の『みんなの賑わい交流拠点コンパス』を視察した上で執行部と本件について意見交換をいたしました。今年度も他市の事例を研究するなど積極的に政策提言してまいります。

会派活動実績

2025	2026
4月 部活動地域展開研修	1月 香取市複合施設整備事業視察 2月 成田市議会政治倫理条例研修
5月 エアポートシティ構想研修 公民館有料化研修	2月 成田市議会政治倫理条例研修
6月 宿泊税意見書提出	
7月 大分市複合施設整備事業視察 熊本市学校部活動事業視察	
8月 ふるさと納税研修 部活動地域展開に係る意見交換会	
	9月 R8政策要望提出 部活動地域展開意見書提出
	10月 外国人材雇用研修
	11月 地域公共交通研修

小菅地区の開発許可における議員の関与への対応

令和7年3月定例会から建設水道常任委員会を中心に、市への説明を求めてきた小菅地区の開発許可において、議員の関与の疑惑が生じたことから、政友クラブでは市民への説明責任を果たすために当事者による説明を当初から一貫して求めています。十分な機会が確保されていないため、引き続き適切な対応を求めています。



2025/11/ 1	東京新聞	開発業者から2市議関連企業へ数千万円の支払疑惑浮上
11/28	議長	当事者聞き取りを踏まえた事態への対応についてコメント
11/29	テレビ朝日	議長コメントに基づいた当事者のコメント報道
12/ 8	会派	当事者から議会に対しての説明を求める申入書を議長に提出
12/11	議長	申入書の内容を当事者に伝えたと回答
2026/ 2/12	会派	成田市議会議員政治倫理条例に係る弁護士との研修会
2/18	成田市	地区計画決定における不適正な事務処理調査結果公表
2/27	会派+他9名	説明責任を果たすための措置を求める申入書を議長に提出
3/10	議長	今後説明を行わない旨の回答があったと回答
3/19	会派	効果的な取組を迅速に検討するためプロジェクトチーム結成

政友クラブ 1年間を振り返って



会長
石渡 孝春

5月の総会で、自身4度目となる政友クラブの会長を拝命した中、4月に議員個人にタブレットが貸与され、2度の講習会を経てDX化がスタート。中学校の部活動の地域移行については熊本市の視察、数度の勉強会の後に要望書の提出。ふるさと納税、小菅地区開発事業に関わる諸問題等で、たくさんの勉強会を開催した1年でした。

経済環境 議会運営



議長
荒木 博

5月の臨時議会で議長に就任してから様々な公務あり、特に本市では空港関係を取り巻く周辺自治体やインフラ等の要望事項等をこなしてのあつと言う間の1年でした。今後も初心を忘れることなく「皆様と共に歩む市議会」として市政の発展と市民福祉の向上に努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経済環境 空港対策



顧問
宇都宮 高明

日本最大の国際空港を有する成田市は、今回の新型コロナウイルス感染症に取り組んだ全施策を記録し、それらで得られた知見や経験を、今後の国際感染症対策に活かしていく責務があります。(コロナ対策の全庁的記録集の作成) 船橋市は、533ページの記録集を作成済みです。

建設水道 空港対策



秋山 忍

令和7年5月21日から市の監査委員を仰せつかっております。「市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、更に、法令に適合し、正確で、効率的かつ効果的に運営することによって、住民の福祉の増進と市政への信頼の確保に資することを目的とする」と明記された監査の役割を果たして参ります。

教育民生 空港対策



副会長
神崎 勝

今年度、空港機能強化や国際医療福祉大学成田病院を見据えた新たなまちづくり、不動ヶ岡・東和田南部・吉倉久米野地区の区画整理、関連道路や橋梁整備、森林環境譲与税を活用した森林保全、遊休農地対策、米増産、農業の担い手確保などを幅広く取り上げ質問し、今後も市の着実な対応と一層の前進を強く促してまいります。

総務 空港対策 委員長 議会運営



幹事長
鳥海 直樹

令和7年度は議会運営委員長として、先進自治体の視察などを通じ議会運営の改善と政策提言力の向上に努めてまいりました。一般質問では、市政課題の解決には縦割りを超えた横断的な取組が必要と提言し、市長からもプロジェクトチーム活用の考えが示されました。今後も市民の期待に応える議会活動に取り組んでまいります。

経済環境 空港対策 議会運営 委員長



副幹事長
藤崎 勇一

議会で提案してきた学校給食費の無料化が、令和8年度予算で義務教育まで実現しました。さらに、成田湯川駅周辺まちづくりの検討開始や、マイナンバーカード手続きの郵便局対応など、市民生活に直結する政策を一步ずつ前進。実績で前へ、今を変えるために、これからも現場の声を市政に届け、暮らしの向上に取り組んでまいります。

総務 委員長 空港対策 議会運営



会計幹事
眞野 義行

本年度の議員活動の柱は次の2点。
①部活動地域展開事業改善のための提言
②日本語指導を必要とする外国人児童生徒のための日本語集中指導教室の設置。いずれも「子どもまん中社会」実現のために、多角的な視点で考察した後に実行に移すべきもので、すべての子どもたちが健やかに成長するための受け皿づくりです。

教育民生 広報広聴 委員長



政調会長
葛生 孝浩

2期目の折り返しとなる中、会派では政調会長、議会では建設水道常任委員長としての職責をいただき努めてまいりました。成田空港第2の開港プロジェクトを踏まえたまちづくりに向け、人口増加や産業集積に対応した都市基盤整備と、騒音地域の地域振興と生活環境整備の両立が図れるよう引き続き取り組んでまいります。

建設水道 委員長 空港対策 副委員長 議会運営 広報広聴



飯嶋 重一

一般質問では部活動の地域展開について過疎地の課題を踏まえ「学校拠点」の維持と指導者確保を提言。また農業施策については消費者と生産者の分断解消を訴えるとともに、生産者の経営安定を支える「収入保険」の加入促進を強く求めました。地域の教育と農業の未来を守るべく、現場の声を届けました。

建設水道 副委員長 広報広聴



別府 弘隆

令和8年4月より休日の部活動地域展開が本格的に始まるにあたり、調査研究と質問や提言を行ってきました。懸念される部分はありますが、理想的な実施となりました。また、児童ホームや不登校支援といった教育分野において、子どもたちの成長に向けた取組を行いました。今後も様々な本市の課題解決に向けて、尽力する決意です。

教育民生 副委員長 広報広聴



会計幹事
中島 圭介

会派において赤坂センター地区複合施設事業の調査研究を担当しています。また、次世代に成田の魅力伝えていくため郷土資料の保存や活用について提言しているほか農福連携事業について議会で取り上げました。小菅地区開発については建設水道常任委員会で毎回取り上げるなど積極的に事態の解明に向け活動しています。

建設水道



小泉 英樹

子育て・教育の現場課題を丁寧に検証し、学びの質の向上や生成AI活用に関するルール整備を提案してまいりました。交通空白地帯が増える中では、地域交通の持続可能な仕組みづくりも推進しています。引き続き、成田市をより良くするため、現場の声を大切に活動してまいります。

経済環境 副委員長



中島 達也

この一年は挑戦の年でした。総合計画や財政など市政の根幹を審議する総務委員会の副委員長として、多くの課題と向き合い議論を重ねてきました。市民の声を丁寧に受け止め、その思いを市政に反映させながら、誰もがチャレンジできるまちの実現に向けて取り組んでまいります。

総務 副委員長 広報広聴